

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 5月

平成30年5月1日の推計人口 1,343,329人
世帯数 562,108世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年5月1日現在の推計人口は、1,343,329人で、前月(1,341,295)に比べ2,034人の増加となった。

市部では佐世保市(1,047)、諫早市(289)、大村市(234)、壱岐市(121)、島原市(108)、五島市(79)、対馬市(44)、雲仙市(17)、長崎市(1)の9市で増加し、南島原市(100)、平戸市(88)、松浦市(26)、西海市(18)の4市で減少した。

郡部において時津町(243)、長与町(49)、新上五島町(33)、川棚町(28)、佐々町(26)、小値賀町(14)の6町で増加し、東彼杵町(36)、波佐見町(31)の2町で減少した。

自然動態は、出生数745人、死亡数1,411人で666人の減少、社会動態は、転入者数9,514人(県内転入を含む)、転出者数6,814人(県内転出を含む)で、2,700人増加となった。

2 世帯数

平成30年5月1日現在の世帯数は、562,108世帯で前月(559,336)に比べ2,772世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 3月

1人あたり現金給与総額 261,052円
対前月比 7.4%増加
対前年同月比 3.5%減少

1 賃金

3月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額261,052円で、前月に比べ7.4%増加し、前年同月に比べ3.5%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,689円で、前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ2.8%減少した。

特別給与額は16,363円で、前年同月に比べ、2,536円減少した。

2 労働時間

3月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.3時間で、前月に比べ3.9%増加し、前年同月に比べ5.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は139.2時間で前月に比べ3.6%増加し、前年同月と比べ5.0%減少した。

所定外労働時間数は12.1時間で、前月に比べ7.1%増加し、前年同月に比べ8.3%減少した。

3 雇用

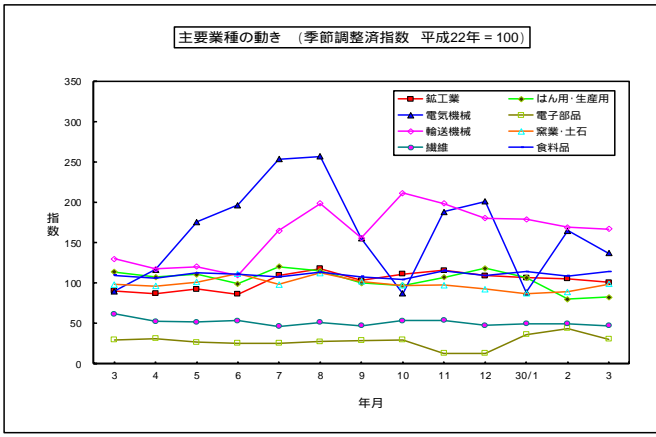
3月の常用労働者数は223,158人で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月に比べ2.5%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 3月

平成30年3月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	100.8	4.5	111.2	10.2
九州	p110.4	p1.4	p117.0	p0.0
全国	104.1	1.4	114.5	2.4



平成30年3月の鉄工業生産指数は、季節調整済指数が100.8で前月比は4.5%の減、原指数は111.2で、対前年同月比は10.2%の増となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、食料品工業、はん用・生産用機械工業など5業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、電気機械工業、繊維工業、輸送機械工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	10.8	1.7	生コンクリート
食料品工業	5.1	3.7	煮干
はん用・生産用機械工業	3.0	26.9	ボイラ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	30.9	0.4	シリコンウエハ
電気機械工業	16.9	45.3	交流電動機
繊維工業	4.8	24.0	織物製外衣
輸送機械工業	1.2	28.4	修繕船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 4月

総合指数(H27=100)	101.4
対前月比 (%)	0.0
対前年同月比 (%)	0.9

平成30年4月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.4である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+3.1%、「保健医療」の+0.6%であり、主な下落要因は「食料」の0.6%、「交通・通信」の0.5%である。

前年同月比は、平成30年1月は+1.5%、2月は+1.4%、3月は+1.3%と推移した後、4月は0.9%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.5であり、前月比+0.3%、前年同月比は+1.0%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

住居	0.1%
光熱・水道	0.4%
被服及び履物	3.1%
保健医療	0.6%
諸雑費	0.2%

下落した費目

食料	0.6%
家具・家事用品	0.1%
交通・通信	0.5%
教養娯楽	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 4月

消費支出(一世帯当たり) 305,309円
前月比 2,620円減(0.9%減)

平成30年4月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は305,309円で、前月比0.9%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は77.0%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	73,347	2.3
住居	17,581	35.2
光熱・水道	21,686	24.1
交通・通信	37,495	5.4
教養娯楽	26,192	3.2

(注)この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。